

SAPIX

対策・攻略 BOOK



SAPIX 対策

SAPIX 特徴

ご存知の通り、御三家や難関校に優れた合格実績を上げています。その為、御三家や難関校を目指すためのカリキュラムが基準となっており、他塾に比べて**勉強のスピード感**が求められます。それに伴い、多くの中学受験生がこれについていけず、組分けテストに向けた**家庭学習に苦悩**を抱えています。しかし、この SAPIX の速い流れについていけるようにすることこそが『難関校合格の近道』となるのです。

SAPIX を攻略するための 4 つの視点

- 家庭学習などの勉強の進め方
- テストの成績の捉え方
- テキストとの付き合い方
- 志望校 × SAPIX

■ 家庭学習などの勉強の進め方-その 1-

◆ 家庭学習の基本方針

5 年生までと 6 年生以降で家庭での学習スタイルを変える必要があります。

SAPIX のカリキュラムでは 5 年生までに基本単元を一通り学習する内容となっています。

5 年生までは「**基本的な知識や解法の習得**」が最大目標となりますので、インプットする学習が大切となります。そのため 5 年生までは「ひたすら覚える」ことも大切です。

6 年生で身につけるべきことは大きく 2 つあります。

1 つ目は「**さらに高度な知識・解法・考え方**」、2 つ目は身につけた解法・考え方の「**使い方**」です。そのためアウトプットする学習が大切となります。入試では見たことのない問題が多く出題されるので、見たことのある（テキストの類題）問題が解けるだけでは入試での合格に直結しません。初見問題を多くこなすことが大切です。

◆ 勉強量について

SAPIX に通う方で一番多いご相談が「勉強量が多くてこなしきれない」という声です。

デイリーサピックス、ウィークリーサピックスなど多くの教材があり、頭を抱えてしまう方がとても多いです。しかし、これをすべて終わらせようと思っても、**こなしきれの方はほとんどいません**。SAPIX に通われている方の家庭学習としてこの多くの教材、問題数からお子さんにとって必要な勉強を絞って学習計画を立てる必要があるのです。**限られた時間の中に、いかにして効率的に学習を進められるか**、が大きなポイントとなってきます。

SAPIX 対策

■ 家庭学習などの勉強の進め方について-その 2-

◆ 「暗記する」のではなく、「理解する」勉強をする

「基礎力定着テストは点数が取れるのに、模試になると取れない」
「マンスリーはいいのに、組分けや志望校判定テストになると悪くなる」

良く聞くお悩みです。

その場合、ほとんどのお子さんが、「**その場かぎりで覚えるだけ**」という、本番で使える知識が身につかない勉強のやり方になっています。

SAPIX で使用する「基礎トレ」などのテキストは、解き方のパターンを暗記してしまえばある程度こなせてしまうため、「なぜこの公式を使うのか?」「どうしてこうなるのか?」といった「理解する」というプロセスが疎かになりがちです。

さらに、基礎力定着テストやマンスリーテストの場合、解き方のパターンや問題と答えをセットで覚えておけば、ある程度の点数が取れてしまいます。

一方で、範囲の決まっていない組分けや志望校判定テスト、SAPIX オープンなどでは丸暗記の勉強法はほとんど通用しません。

考え方や、解き方の理屈をしっかりと理解し、自ら応用をきかせなければ好成績は狙えないのです。

そのため、今のクラスから 1 ランク、2 ランク上の成績を目指すのであれば、

「暗記するだけの」勉強から「理解する」勉強スタイルに変えましょう。

SAPIX 対策

■ 家庭学習などの勉強の進め方について-その 3-

◆ 優先順位をつけてやること

基礎トレ、デイリーサポート、デイリーサピックス、算数 AB、ウィークリーサピックスなど、SAPIX のテキストは種類が非常に多いです。

何がどんなテキストなのか整理して理解するだけで大変なご家庭もいらっしゃるのではないのでしょうか。

これらのテキストを 100% こなすことが成績アップへの近道でしょうか？

そんなことはありません。

むしろ SAPIX の内容をすべてこなそうと無理をすると、ほとんどのお子さんは一杯一杯になってしまい、パンクしてしまいます。

成績を上げるためには、まず**成績が上がらない原因をはっきりさせる**ことです。

- 基礎が固まっていない
- ケアレスミスが多い
- 分からない問題をそのままにしている
- テスト中時間配分がうまくいかず時間切れになっていないのか
- 得意科目ばかり勉強して、苦手科目に手をつけていない
- 語彙力が不十分、基本知識に抜けが多いのか

まずはこういった**原因をはっきりとさせて対策を立てることが重要**です。

何も考えずに SAPIX のテキストをこなすだけでは NG。

「いつ、何を、どれくらい、どうやって勉強するのか」

という取舍選択をしてあげることが大事です。

お子さんにとって優先順位が高い事項はどれですか？

- 苦手を克服するために、基礎までさかのぼって徹底的に勉強をやり直す
- テスト中の時間配分が苦手なので、時間をはかりスピードアップする
- クラスアップのためにマンスリー・組分けで高得点を取ることに集中する

この優先順位をつけることが中学受験で成功できるかどうかの最大ポイントとなります。

SAPIX 対策

■ テストについてーその1ー ～マンスリーテストについて～

◆マンスリーテストとは

マンスリーテストには、「マンスリー確認テスト」と「マンスリー実力テスト」の2種類があります。それぞれの特徴は以下の通りです。

★マンスリー確認テスト

小4～6生を対象に、組分けテストがない月に行われるテストです。

マンスリー確認テストの問題は、約1か月前までの学習内容から出題されます。

授業の理解度を問う確認テストという位置づけです。

★マンスリー実力テスト

6年生の後期に行われる、組分けテストがない月に行われるテストです。

6年生の後期（秋以降～）で、カリキュラムは一通り終了している時期なので、実力テストという位置づけでもあります。クラスアップ対策としては、各月に行われる「マンスリー確認テスト」の対策がメインとなります。

マンスリー確認テストは必ず出題範囲が決まっています。

クラスアップするには、組分けテストで点数を取らなければなりません。

月ごとに行われる「マンスリー確認テスト」こそお子さまの学習理解度が見える大きな指標となってきます。マンスリー確認テストの出題範囲は、テスト前1か月間の学習範囲です。そして点数に繋げるポイントは2つ。

- 「**授業で学んだ問題や範囲を早い段階で定着させること**」
- 「**その子にとって必要な範囲に絞って勉強する事**」

出題範囲が広範な組分けテストに比べると点数は取りやすいテストです。

また、マンスリー確認テストで点数を上げるには、「解くべき問題の見極め」も重要です。マンスリー確認テストに限らず、通常テストは、

- ①**点数を取らせる問題（落とせない問題）**
- ②**差をつける問題**
- ③**正解率の低い難問（捨て問題に近い問題）** の3つで構成されています。

そのため、

- ①「**点数の取らせる問題**」を確実に取ること
- ②「**差をつけるための問題**」の中で、**お子さんが点数を取りやすい問題を優先して解く**

この2点がポイントになります。もちろん、お子さんだけではそこまで判断できないので、的確に指示してあげないといけません。

SAPIX 対策

■ テストについて - その2 - ～組分けテストについて～

◆組分けテストとは

SAPIX の組み分けテストは、年3回、3月・7月・1月の土・日・祝日に実施されます。外部からの入塾テストも兼ねた、公開型のテストです。組み分けテストは、**出題範囲が決まっていないテスト**になります。

組み分けテストは、マンスリーテストと異なり、クラス変動の幅に制限がありません。そのため、組み分けテストの結果が悪いと、上位クラスから下位クラスに落ちてしまうこともありえます。

膨大な範囲が出題されます。そのため、

「マンスリーでは点数が取れるのに組分けでは取れない」というお悩みを良く聞きます。大事なものはこの出題範囲をすべて網羅しようとせず、

- 復習する問題を絞ること**
- 普段から復習する習慣をつくり時間を確保すること** が大切になります。

また、マンスリーは取れるのに、組み分けになると急に点数が取れなくなるお子さんは、解法や解答を「丸覚え」しているケースが多く見受けられます。

要するに、「**理屈を理解しないまま、テスト前に解法や解答を丸暗記している**」ケースです。これは、**SAPIX 生の多くに共通する傾向**だと断言できます。

テスト直前の丸覚えは、出題範囲が狭いマンスリー確認テストでは何とかなっても、範囲の広い組み分けテストでは通用しません。

これは、「**覚えるのが得意なお子さん**」「**要領が良いお子さん**」ほど要注意です。

マンスリー確認テストではそれなりに点数を取ってしまうので、勉強のやり方に問題があっても、なかなか問題点に気づけないからです。

そのために大事なことは、**勉強法を切り替えること**

SAPIX の組み分けテストで点数を取るためには、勉強のやり方を根本的に切り替える必要があります。

具体的には、毎回テスト前に「丸覚え」する勉強から、「**なぜそうやって問題を解くのか**」という**理屈や考え方をしっかり理解させるスタイル**に切り替えます。

覚えるだけでは、時間が経つとどうしても忘れてしまいます。使える知識が定着しません。

これでは組み分けテストだけでなく、入試本番でも結果を出すことはできません。

問題の数字や見た目が変わっても解けるためには、問題の考え方・理屈を理解する勉強法に切り替えましょう。

SAPIX 対策

■ テストについて - その 3- ～見直し解き直しについて～

◆ なかなか時間は取れないけど・・・

SAPIX に通われているお子さんで成績が上がらない子に共通していることは、**テストの見直しと解き直しに手が回っていない**ということです。

テストの見直し、解き直しをするなんて当たり前と思われがちですが、通常授業をこなすだけで精一杯の SAPIX のカリキュラムではなかなか時間は取れないことも多いと思います。

ですが、SAPIX の成績を上げるには、基礎力定着テスト、マンスリーテスト、組分けテスト、志望校判定テスト、たくさんのテストがある中でも見直し・解き直しを必ず行う学習計画が必要です。

この見直しで大切なのは、**解答用紙だけでなく実際の問題用紙を見る**ことです。

そして**問題の考え方、出題者の意図を理解できているか。**に焦点をあててみてください。

ほとんどがこの4パターンに当てはまるからです。

- そもそも理解できていなかった
- 理解があやふやだった
- 理解ができていたが、ミスしてしまった
- 時間がたりなかった

そもそも理解していなければ基本から見直さなければなりません。
理解があやふやなのであれば、定期的に類似問題を解きましょう。
理解できていたのであれば褒めてあげてください。次に繋がります。
時間が足りなかったのであれば、普段の学習から時間計測する習慣をつけましょう。

SAPIX 対策

■ テキストについて その 1 - デイリーサポートのススメ方 -

◆ デイリーサポートとは

デイリーサポートは、授業用と家庭学習用の両方を兼ね備えた SAPIX の教材です。
ページの表と裏に、全く同じ問題が掲載されていることが特徴です。
表面は授業用、裏面は自宅学習用です。「同じ問題を繰り返し解くことで、定着させる」
ことが狙いになっており、こうした構成になっています。

問題が難易度別 A～E に分かれています。

A～E 問題を、どこまでこなすべきか、お子さんの学習状況や在籍クラスによっても異なります。SAPIX の授業を理解できていない場合は、まずは A 問題、B 問題を解けるようにしましょう。

αクラスを狙うのであれば、デイリーサポートの E 問題 (★★★) まで解けることが必要です。

しかし、実際はデイリーサポートをこなしきれないお子さまが大半です。

ほとんどのお子さんは、SAPIX の授業を 1 回聞いただけで 100%理解できません。

理解できていない問題をに取り組むことになるので、宿題用のデイリーサポートに手を焼きます。

デイリーサポート以外にも、5 年生であれば「基礎トレ」、6 年生であれば「土曜特訓」や「SS (サンデーサピックス)」の復習や宿題もあります。

「SAPIX の授業が 100%理解できず、宿題 (デイリーサポート) がこなしきれない」

「宿題に時間がかかりすぎて、毎回の授業の復習まで手が回らず、次回の授業も理解できない」

こうした悪循環に陥ると、なかなか抜け出せなくなります。

また、解説がないので保護者の方が教えることが難しいのも特徴です。

デイリーサポートには解説がほとんど載っていないので、保護者の方が「解説を頼りに教える」ということが出来ません。

そこで、デイリーサポートをうまくこなすためにも、

取り組む問題の優先順位をつけてあげることが大切です。

すべてをこなそうと考えるのではなく、

「もうちょっと頑張れば解ける」という問題に多くの時間を割くことです。

問題の取舍選択と問題解説はパーソナルトレーナーと講師が連携を取りながら行います。

SAPIX 対策

■ テキストについてその2 ー取捨選択ー

◆ 全部こなさなくて良いというけど、どう取捨選択を・・・

成績を一番効率良く上げる方法は、

「もうちょっと頑張れば解ける」

という問題に多くの時間を割くことです。

もうすでによく分かっている簡単な問題や、授業を聞いてすらまったく分からなかった問題に時間を割いても、なかなか成績は上がりません。

それでは「もうちょっと頑張れば解ける」という問題のピックアップの仕方は授業中のお子様の判断が中心となります。

簡単に分かって今後必ず正解できそう ...○

なんとなく分かったんだけどちょっと自信がない ...△

授業を聞いたがさっぱり分からない ...×

という印を小問ごとにつけさせる習慣をつけてください。

塾から帰ってきたら、その△だけを、解きなおしをさせ、その△の類似題にあたる宿題最優先でやらせてください。

それが終わってなお時間があるようでしたら、○×の一部の問題に手をつけるといった手順で取捨選択をして、学習の優先順位をつけましょう。

SAPIX 対策

■ テキストについてその3 ー有名中学入試問題集についてー

◆ 普段のテキストと同じように解かないことがポイントです

毎年 SAPIX の 6 年生が取り扱いに苦労するのが夏に配布される「有名中学入試問題」です。校舎や科目によって、取り組む問題を指定してくれるかどうかや、取り組んだものを提出するかどうかなど、**取り組み方の指示が異なります。**

まず、どの学校の問題に取り組むかにつきましては、SAPIX から「標準」「応用」といった難易度が書かれた表が配布されます。

お子様の志望校とその難易度表を合わせ、優先順位をつけてください。

基本的には、**お子さんの志望校と同じカテゴリーに入っている学校群から選ぶのが無難**ですが、塾の先生など専門の人に意見を求めることも必要です。

次に取り組み方ですが、過去問に取り組むわけですので、普段の問題集を解くのとは違った取り組みが必要です。

問題用紙や解答用紙は原寸大にコピーしておき、きちんと時間を計り、さらに解き直す時間もあらかじめ確保しておきましょう。

また、間違えた問題については、その理由（計算ミス、読み違い、手が出ない、...）を明らかにしておくとその後の学習計画に反映できます。

一点気を付けておきたいことは、最終的には合格する子であったとしても、夏の時期に過去問を解くと思いのほか低い点数を取ることはよくあります。

学力はまだまだこれからも伸びていくものですし、普段のテストとの違いにとまどいなどもあるのでしょうか。

本格的に過去問に取り組むのは9月以降ですので、この時期の点数にあまり一喜一憂しないようにしましょう。

SAPIX 対策

■ 志望校 ×SAPIX その1 -サンデーサピックス(SS)-

◆SAPIX における志望校対策

小学6年生を対象に集中特訓を目的として実施されている講座が「サンデーサピックス」です。「サピックスSS」「サピックス志望校別特訓」とも呼ばれています。

この『サンデーサピックス』には

- ① 志望校別講座
- ② 単科講座
- ③ 合格力判定サピックスオープン の3つがあります。

9月～1月までの日曜日に実施され、全18回の授業のうち、4回が「合格力判定サピックスオープン」となります。

「合格力判定サピックスオープンで結果がでなければ志望校は変えるべきですか？」

こういったお悩みを良く伺います。特にSSは9月以降の実施されるので、時期的にも不安になられる保護者の方も多いと思います。

こういった時にしっかり見てほしいポイントは2つです。

- これまでのお子さんの成績推移**
- 最近の学習の様子**

成績は常に一定というわけではなく、その日の体調ひとつで左右されるものです。

なので、毎回の成績で一喜一憂するのではなく、その結果からの分析を次の学習にどう活かすのかが重要になります。

- 何ができて、何ができなかったのか**

オープンは勿論参考資料としては大切です。入試傾向も十分に考えた上での出題です。

成績が下がったから志望校を変更する、次のテストで点数が上がったからまた志望校を変更する、といった動きはあまりよい策ではありません。

オープンの結果も参考にしながら、

- 得意といえる分野（単元）は確実に得点できるところまで高める**
- 課題と思われる分野（単元）については全てをやりつくそうとせず
伸ばせる可能性の高いところから手をつける**

といった戦略的な学習をしていくことが大切です。残り時間をどのように使って何を身につけるのか、という点を明らかにし、その上でどうしても時間が足りないと判断できる時に、志望校変更についてしっかりと判断を行いましょう。

SAPIX 対策

■ 志望校 ×SAPIX その2 -数字だけで判断しないこと-

◆ マンスリーはできるけど、SAPIX オープンで結果がでない・・・ 志望校を目指して大丈夫でしょうか。

マンスリーの結果から考えられることは、授業を受ける⇒宿題（復習）をするというリズムができていますということですね。

対して、サピックスオープンで苦労していることの原因は

学習がパターン暗記型あるいは条件反射的なものに陥ってしまっている
ことにあると思われます。

どの科目でも言えることですが、「なぜ？」というところから家庭学習を組み立てる習慣をつくっておくことが大切です。

演習量を増やす方向ではなく、一つの問題を

「読む」「考える」「書く（調べる）」「見直す」という一連の動作を意識して『完結』させることを主眼においてください。

志望校判定の数字は参考になりますが、時期によって受け取り方を変えなければいけません。

サピックスの問題と実際の入試問題の傾向も無関係ではありませんので、慎重に分析することが必要です。

お子さんの学習方法、得意単元と志望校の傾向を照らし合わせることもあわせて目指すかどうかを見極めるようにします。

過去問を国語なら7月あたり、他の3教科は9月あたりに1年度分、正しく時間を計ってやってみてください。

合格者最低点にまで届いていなくても構いませんが、ほとんど点数がとれていないとか、途中でお子さんの気持ちが途切れてしまう程に相性が悪いのであれば、まずは塾などに相談の上、適切な対策を講じるようにしてください。

志望校を下げるのはいつでもできます。

数字だけを見て判断するのではなく、今後のお子さんの伸びや対策を加味してお考えになるとよいでしょう。

SAPIX 対策

■ 志望校 ×SAPIX その3 ー志望校を決めるタイミングー

◆ 6年生の6月のサピックスオープンが鍵

4月にサピックスオープンを受けたことで、お子さんが目指す志望校について色々と思いを迷われる方が増える時期ですね。

もちろん、本命校をはっきりと決めてしまい、入試まで脇目もふらず目標に向けて頑張っていくというのも良い選択です。

SAPIXに通っている場合、志望校はいつ決めるか？

しかし実際の問題としては、8月の夏休み明けのSS志望校別特訓で

「どのコースを受講できるか」

が、志望校選びの大きな分かれ目となるでしょう。

その上で、9月のサピックス模試または四谷大塚の合不合判定模試を受験し、その結果を見ていよいよ決めていくことになる、というのがサピックスに通う方のスタンダードな志望校の決め方です。

よくある決め方としては下記の通りです。

「SS志望校別特訓の受講コース」×「9月模試の結果」⇒志望校決定

■ 志望校を決める鍵となる6月サピックスオープン

テストの結果によって志望校を決定することは本末転倒のようにも思えるのですが、サピックスのカリキュラムにおいては、受験校対策をSS志望校別特訓に依存している以上、どのコースに入るかによって受験校がある程度限定されてしまうことは避けようがありません。

したがって、優先すべきことは、**本命校の目標ラインとなる偏差値をとれるように、基礎となる学習を固め直すこと**が大切です。

塾の先生にも今後の学習対策を相談した上で、GS特訓で発見した課題を5月中に克服し、6月のサピックスオープンで納得のいく結果を出していきましょう。